

令和 5年度予算見積調書

課室名: 会計課
 担当名: 予算係
 内線: 2233

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P17	大規模災害対策の推進		一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	警察施設整備費		
事業期間	平成18年度～令和5年度	根拠法令	警察法、建築基準法		針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	13, 16	
					分野施策	0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット	13-1, 16-6	
1 事業概要			5 事業説明						
東日本大震災を機に県民の防災意識はこれまで以上に高くなっている。 大規模災害時に防災拠点となる警察施設の機能強化及び災害に強い体制の整備を継続的に進め、県民の期待に応える。 ア 大型非常用発動発電機の更新等 55,437千円 イ 警察施設の浸水対策 158,987千円			(1) 事業内容 ア 大型非常用発動発電機の更新等 55,437千円 (ア) 大型非常用発動発電機の更新(大宮東警察署(250KVA)) (イ) 非常用発電機の蓄電池交換 (深谷警察署、鴻巣警察署、小鹿野警察署、東松山警察署、航空隊、北部機動センター) イ 警察施設の浸水対策 158,987千円 (ア) 警察施設の電気設備等に係る浸水対策 (機動センター、吉川警察署、深谷警察署、幸手警察署) (2) 事業計画 ア 大型非常用発動発電機の更新等 (ア) 令和6年度 蕨警察署(350KVA)他 (イ) 令和7年度以降 個別計画に基づく整備 イ 警察施設の浸水対策 (ア) 令和6年度 蕨警察署、川越警察署、本庄警察署、久喜警察署、杉戸警察署 (イ) 令和7年度 大宮西警察署、川口警察署、草加警察署、加須警察署 鹿手袋分庁舎、交通機動隊、上尾分庁舎 (3) 事業効果 大規模災害や自然災害等により商用電力等の供給がされない場合、復旧までの時間を想定した能力(約72時間)を備えた大型非常用発動発電機等を整備し、浸水対策を講じることで、防災拠点の機能維持を可能とする。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 (1) 地方債の充当率 100% (2) 交付税措置 元利償還金について、その70%を基準財政需要額に算入									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		県 債							
決定額	214,424	208,000						6,424	173,297
前年額	41,127	40,000						1,127	

事業内訳書

事業名	大規模災害対策の推進		
単位事業名	大型非常用発動発電機の更新等	予算額	55,437千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	5,071	4,213	設備部品費用等
委託料	1,853	385	設備改修に設計委託料
工事請負費	48,513	9,712	設備改修工事費
合計	55,437	14,310	

単位事業名	警察施設の浸水対策	予算額	158,987千円
-------	-----------	-----	-----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	120	120	事務費
委託料	9,999	9,999	浸水対策施工に係る設計委託料
工事請負費	148,868	148,868	浸水対策工事費
合計	158,987	158,987	